

★12年目を迎える今年も、生協北診療所をよろしくお願いいたします★




診療所・透析室全職員

通巻百号
記念号

北診だより



二〇一八年一月号

2018年1月1日
東京都北区
東十条 2-8-5
生協北診療所
TEL
03 (3913) 5271
「北診だより」
作成委員会発行
通巻 100号
発行責任者
関根 覚

http://hokuto-kita-clinic.jp/

二〇一八年新年あいさつ

生協北診療所 所長 大場俊英

明けましておめでとうございます。昨年患者・組合員の皆様にはたいへんお世話になりました。

昨年三月末、老健施設「ほくとはなみずき」を閉鎖し、診療所の規模は小さくなりましたが、認知症や一人暮らしで生活に支障をきたした高齢者の状況を、周囲の「地域あんしんセンター」などの連携で共有したり、見守りの態勢を充実させてきました。

外来では、高血圧症や糖尿病、認知症はもとより、がんをなるべく早い段階で発見することに努め、高齢者が増えてくる心臓弁膜症の診断を重視し、専門病院と連携し治療につなげるなど、診療圏の高齢化に対応した診療に力を入れております。また、月一回ですが口コモ体操教室は毎回多くの参加で好評を得ております。

透析部門では透析機器を最新の機種に変更して以降、職員の技術研修も充実させながら「安全な透析」を続けております。

これからも地域における一次医療の役割をしっかりと果たしていくため、職員一同研鑽に努める所存ですが、皆様のご援助もお願いする次第です。

安倍内閣のもとで、医療・介護の制度改悪が次々とすめられ、国民に押し付けられた負担増は耐えがたい段階に達しています。さらに今年、憲法9条の改悪が政治の最大の焦点となる年となりそうです。“戦争ができる国”に向かつて猛然と突き進む政治では国民の生活や健康を守ることはできません。今こそこのような政治に対して国民が本気に立ち向かうことが求められているのではないのでしょうか。

地域の状況に適合した医療・介護を日々着実にを行うことと、社会の劣化をこれ以上進めないための運動を両立させるために、医療生協としての力を発揮することを決意し新たな年のご挨拶とします。



各支部長さん、運営委員さんの 紹介と活動の抱負をひとこと

王子5丁目回地支部 石原支部長

支部ニュースを発行していない私たちの支部にとって北診だよりは、健康や暮らしなど多岐にわたる内容がとても充実していて頼りになっています。これからも北診だよりがずっと続くことを願っています。

十条西支部 田中支部長

昨年末、北とぴあにて地域の担い手講演会があり「人とのつながりは寿命を延ばす」で講師は東大の近藤尚己氏の話聞いてまいりました。私たち医療生協活動はまさにその先端を行っていると思えました。これからも出来るだけ皆様のお力になれる様にがんばりま

神谷支部 熊谷支部長

「北診だより」100号おめでとうございます。毎年活躍する組合員さんの姿に励まされた10年でした。今、住民の高齢化が進んでいる北区で様々な取り組みが始まっています。「東京ほくと」がその先頭に立てるように一緒に頑張りましょう。

東十条支部 白坂支部長

2018年、今年こそ新しい担い手さんを増やしたいです。この地域に新しい診療所が建って喜び合い、健康づくりやたまり場に集う人たちの、元気で明るい姿を思い描きながら・・・。

十条東支部 山口支部長

「北診だより100号」おめでとうございます。ご苦労様でした。これからもよろしくお願ひします。私共、十条東支部は支部ニュースを出していませんので北診だよりは貴重な存在です。十条東支部のニュースも掲載して頂けるよう努力します。重ねておめでとうございます。

赤羽西支部 佐沼運営委員

100号記念おめでとうございます。ほくと医療生協というのを知ったのは1972年頃。初めて聞いた時は生協病院って何？でした。あれからもう半世紀近くなりました。赤羽西からは最も近い診療所です。近々建て替えるとの事、新しいビル内の診療所を一日も早く見て頂きたいと切に思います。

神谷堀支部 奥島運営委員

とにかく組合員の皆さんが元気な顔を見せてくれるのが一番うれしい。高齢の方もシルバーカーを押して集まります。一人暮らしの方もいます。だから一層楽しみの場を作りたいという思いが募ります。2018年、たくさんの組合員の皆さんが楽しく集える企画を支部運営委員会で考えていきたいと思ひます。また、支部ニュースを再開できたらと思ひます。神谷堀支部の活動を多くの組合員に知らせることで、食事会に参加してみたいなと思うかもしれません。ストレッチ班に興味を持ってもらえるかもしれません。まだまだ、つながりのない組合員がたくさんいるのです。

北診だより100号によせて

「北診だより」創刊100号おめでとうございます。スゴイことですね。役所の広報と違い、出さなきゃならないものではないし、それを毎月毎月律儀に出す、という執念に敬服します。「継続は力なり」と昔から言われています。200号、300号目指して下さい。

創刊1号を発行したのは2006年の11月だったかと思ひます。大場所長から「ほかの診療所は皆、ニュースやお便りを発行している。北病院も北診療所として新たにスタートを切ったのだから作ってみてはどうか」と言われ、最初はA4版だったんですね。試行錯誤を重ねながら北診療所の様々な動きや組合員さんの活動を紹介しながら、取り合えず「内容は薄くとも毎月発行する」を目標に先生方や職員の力を借りながら作成してきました。私が浮間診療所に移動になった後も北診だよりの発行は継続され、ついに100号を迎えるとは感動ものです。これからも「北診だより」をよろしくお願ひします。 前事務長 金盛 行雄

新春のつどいのお知らせ

王5支部
実施無し

十条東支部
2月8日(木)
12:30
十条振興室2階

十条西支部
2月予定

赤羽西支部
未定

神谷支部
2月6日(火)
13:30
ふれあい館地下

神谷堀支部
1月予定
神谷堀ハイツ予定

東十条支部
2月13日(火)
11:00
東十条ビル集会室

